

地域共創センター事業「体験型」報告会

3回目となる公益大ウィークでは、各プロジェクトでの活動報告はもちろん、ご来場いただいたみなさんに、活動の一端を体験していただくプログラムを用意しています。

公益大生になったつもりで、「地域共創活動」に触れてみませんか？
みなさんのお越しをお待ちしています！



- 鶴岡市加茂地区活性化事業
- 震災復興教育プロジェクト
- とび魚だしプロジェクト
- Koeki Kids Project
- かずのふしぎ、しぜんのふしぎ
- 最上紅花プロジェクト
- 観光デザイン論

公益大ウィーク 2013 in 鶴岡

地域に飛び出す公益大生のキセキ

2013年2月23日(土) 10:00～16:00

鶴岡アートフォーラム【大会議室】

山形県鶴岡市馬場町13番3号



パネル・ディスカッション 卒業生と語ろう！ ～地域共創ってなんだろう？～

パネリスト

後藤 拓馬さん (東北公益文科大学3期卒業生)
佐藤 悠さん (東北公益文科大学4期卒業生)
ほか、現役公益大生も出演予定

コーディネーター

澤邊 みさ子
(東北公益文科大学 地域共創センター長)

公益大ウィーク2013 ポスター展示

公益大や地域共創センターってどんなことをしているのかな？

きっと名前は聞いたことがある「加茂マップ(鶴岡市加茂地区活性化事業)」「Koeki Kids Project」「社長インターンシップ」「社会起業家育成研究会」など、たくさんの活動をポスターでご紹介します！

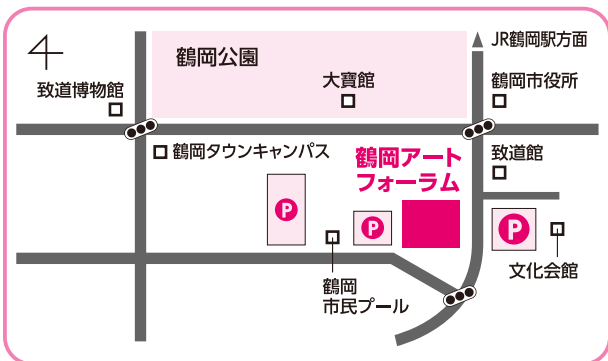
2013年2月19日(火)～2月23日(土)

開館時間／ 9:30～18:30

(2月19日は13:00開始、2月23日は16:00終了)

鶴岡アートフォーラム【1階ギャラリー】

遊学館(山形県山形市緑町1-2-36)でもポスター展示を開催します！
期間：2013年3月5日(火)～3月19日(火)



■主催
東北公益文科大学 地域共創センター

■後援
鶴岡市、鶴岡市教育委員会

■お問い合わせ
東北公益文科大学 地域共創センター

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 tel.0234-41-1115 fax.0234-41-1135
E-mail: kyoso@koeki-u.ac.jp ホームページ: http://kyoso.koeki-u.ac.jp/

平成24年度公益のふるさとづくり
活動補助金採択事業

2月23日(土) ◎鶴岡アートフォーラム【大会議室】

時間	内容
10:00 ~ 12:00	開会挨拶・地域共創センターの紹介 「体験型」報告会① Koeki Kids Project / とび魚だしプロジェクト / かずのふしぎ、しぜんのふしぎ
12:00 ~ 12:45	休憩
12:45 ~ 15:00	「体験型」報告会② 最上紅花プロジェクト / 震災復興教育プロジェクト / 観光デザイン論 / 鶴岡市加茂地区活性化事業(加茂マップ)
15:00 ~ 16:00	パネル・ディスカッション「卒業生と語ろう! ~地域共創ってなんだろう?~」



後藤 拓馬さん
(東北公益文科大学3期卒業生)

オリエンタルモーター株式会社 鶴岡カンパニー 総務部総務課に勤務。在学中に陸上部を立ち上げ、1500Mで東北選手権優勝、また東北学連選抜チームとして出雲全日本大学選抜駅伝に出場。現在は、山形県縦断駅伝の鶴岡田川チームの選手である他、鶴岡市ジュニア駅伝チームなどのコーチや、鶴岡田川女子駅伝チームの広報担当などの活動を行っている。

佐藤 悠さん
(東北公益文科大学4期卒業生)

株式会社平野新聞舗勤務。学生時代、和太鼓サークルW-indに所属し、地域の祭り、福祉施設の夏祭り、他大学の文化祭などで公演。他には飛鳥クリーンアップ学生実行委員、公羽祭実行委員など。公益大「春の大発表会」(学内サークル活動の合同発表会)では発案・企画・運営を行った。現在は、太鼓道場「風の会」のメンバーとして活動。

鶴岡市加茂地区活性化事業

山形県「庄内景観回廊」の一つに指定されている鶴岡市加茂地区。公益大生と渡辺曉雄准教授のプロジェクトでは、昨年度から加茂地域の活性化に住民のみなさんと一緒に取り組んできました。成果として23年度は『いにしへの港町 加茂そぞろ歩き』というマップを作成。24年度はそれを元にサイン(看板・道案内づくり)の検討に入っています。今年は地域の方に加え加茂水産高校の生徒さんとも議論を深め、加茂地区の魅力発信に挑みます。

震災復興教育プロジェクト

被災地に足を運び、被災者と語り合せて活動を続ける本プロジェクト。これまで、宮城県南三陸町や亘理町、気仙沼市、岩手県陸前高田市に赴き、地域の防災計画や災害時の要援護者への支援のあり方、災害ナレッジの地域間移転などを考えてきました。被災地の復興はもちろん、活動を通して見えてきた庄内地域の防災のあり方を、行政・地域の皆様と一緒に考えていきたいと思います。

とび魚だしプロジェクト

とび魚だしプロジェクトは、飛鳥のとび魚の焼干しを使った、「絶品とび魚だしめんつゆ」を開発し、全国へ発信してきました。地域活性化への貢献が認められ、平成24年度「輝けやまがた若者大賞」を受賞! 飛鳥での焼干しづくり、工場でのめんつゆ製造や各地の商談会、レシピ展開等、さまざまな活動を報告します。島の漁師さんや庄内の方々との協働による、こだわりの「めんつゆ」づくりのストーリーをお楽しみください。

Koeki Kids Project

3年目となる本プロジェクトは、新たな学生メンバーを迎え、地元小学校教諭等との交流や学びを深めながら、酒田市内の小学校での「公益の授業」の準備と実践に取り組んでいます。自らの大学での学びを小学生にどのように伝えるのか。1年間の活動内容を報告します。(日本財団採択事業「小学生のための実践授業『公益学をはじめよう』・公益コミュニティサポーターの養成」)

社会起業家育成研究会

山形県・日本政策金融公庫・東北公益文科大学の三者により組織された研究会。社会起業に挑戦する人を育成するとともに、社会起業家への理解を深める事業を行っています。昨年度は受講生から2名が起業しました。今年度は、連続講座「明日から起業! 社会起業家育成講座」を開催し、9名の受講生(講演会は延べ168名)がワークショップを含む、より実践的なカリキュラムで学びました。

かずのふしぎ、しぜんのふしぎ

自然界の法則を探しあてていくことを目的とした、庄内の小学生4年生以上を対象にした科学体験教室。学生の先生が教員とともに開発した理科教材をもとに、子どもたち自らが工作し、考えながらたくさんのふしぎについて調べてきました。今年度は「音」「色」「光」「温度」の4つをテーマとして、さまざまな実験をしました。みなさんにもその教室の一環を、楽しく体験していただきます。

最上紅花プロジェクト

山形県花の最上紅花の花びらには、血液循環促進作用及び免疫を高める作用のほか、我々は抗酸化作用、脳保護作用及び老化効果のあることを明らかにしました。また紅花の若菜には素晴らしい抗酸化作用があり、健康野菜として地域の人々の健康増進及び“びんびんころりん”をめざした普及活動を行っています。本プロジェクトは学生さん達が庄内産紅花の機能性の研究、栽培推進、若菜の販売促進、加工・出荷などの活動をしております。

観光デザイン論

本学「観光デザイン論」の授業の中で、多様な観光分野で活躍する外部講師から、観光資源とその活かし方や情報発信の方法、観光マーケティングを学んできました。そうしたこれまで培った知識に基づいて、私たちは観光アクションプランを作成しました。地域資源を生かした、既存の観光プランとは一味違うプランをご紹介します。

とびしま未来プロジェクト & 飛鳥ふぁんくらぶ

飛鳥の元気な島づくりを応援する学生・教職員の活動「飛鳥ふぁんくらぶ」(01年から)、飛鳥の未来デザインを考える「とびしま未来プロジェクト」(07年から)県・酒田市受託、佐渡・粟島・飛鳥の三島交流会(07年から)、島民・島の応援団(NPO・大学等)・行政からなる「とびしま未来協議会」事業である「離島振興計画づくりへの提案」「しまCafé」「天保そば&めんつゆセット発売」など、最新の動きを報告します。

